

◇2019年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ（高等学校）〈抜粋〉◇

公益財団法人日本修学旅行協会

この調査は2019(平成31,令和元)年度に実施された高等学校の修学旅行に関するものである。全国の国立、公立、私立4,887校から3,112校を抽出してアンケート調査を依頼した。回答は1,149校(回答率36.9%、前回37.6%)からいただいた。

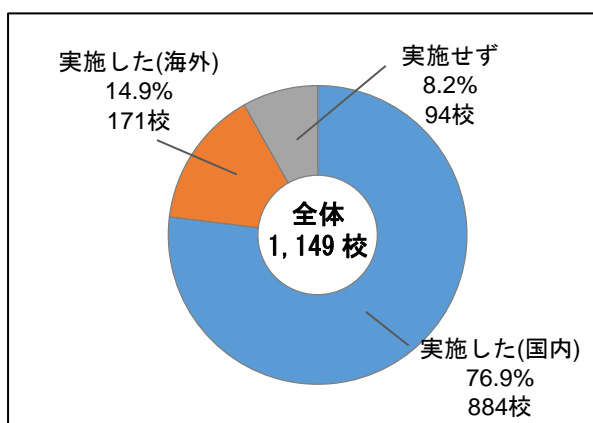
設置者名	国立	公立	私立	合計
全国校数	15	3,550	1,322	4,887
抽出校数	15	1,775	1,322	3,112
回答校数	4	709	436	1,149
回答率	26.7%	39.9%	33.0%	36.9%

調査項目は次の通りである。

- (1) 実施状況 (2) 不参加生徒の有無・理由 (3) 実施時期 (4) 実施学年 (5) 保健指導のための引率者 (6) 旅行日数 (7) 旅行費用 (8) 主な交通手段 (9) 旅行内容「旅行先、重点をおいた活動、宿泊地・利用宿泊施設、見学先等」 (10) 班別自主行動 (11) 体験活動 (12) 防災(避難)訓練の取り組み (13) アレルギー対策 (14) 事前・事後学習

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお他の項目および詳細については、当協会発行の「教育旅行年報データブック2020」をご覧ください。

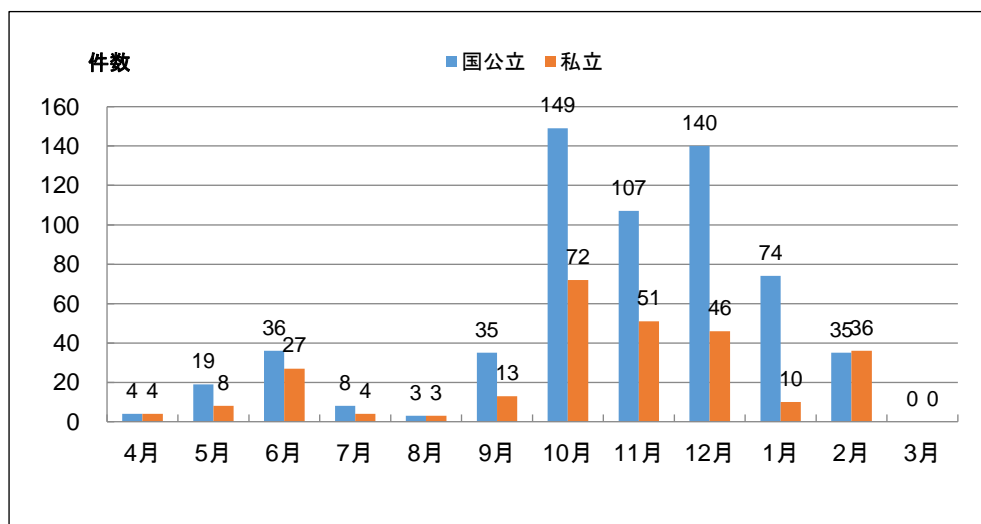
1 修学旅行の実施状況



国内・海外を合わせた修学旅行実施率は91.8%であり、前回(2018年度実施)の97.7%から比べると5.9ポイント減少している。

修学旅行を実施しない学校が例年になく増えたのは、2月頃から新型コロナウイルスの感染者が出始め、感染防止のために中止にする学校があったためである。

2 国内修学旅行実施時期



国内修学旅行の実施時期は、10月～12月に実施する学校が全体の63.9%を占めている。国公立校では10月～12月に集中しているが、私立学校は10月～2月と分散している。

3月は新型コロナウイルス感染防止のために、実施する学校がなかった。

3 都道府県別旅行先上位 20

順位	旅行先	件数	構成比%
1(1)	沖縄	250	11.5
2(4)	大阪	207	9.6
3(3)	京都	205	9.5
4(2)	東京	202	9.3
5(6)	奈良	138	6.4
6(5)	千葉	122	5.6
7(7)	北海道	113	5.2
8(8)	兵庫	76	3.5
8(10)	長崎	76	3.5
10(11)	福岡	70	3.2
11(9)	広島	67	3.1
12(12)	神奈川	54	2.5
13(13)	長野	45	2.1
14(15)	佐賀	22	1.0
15(14)	新潟	19	0.9
16(16)	群馬	18	0.8
16(17)	鹿児島	18	0.8
18(23)	香川	16	0.7
18(16)	熊本	16	0.7
20(21)	岡山	13	0.6

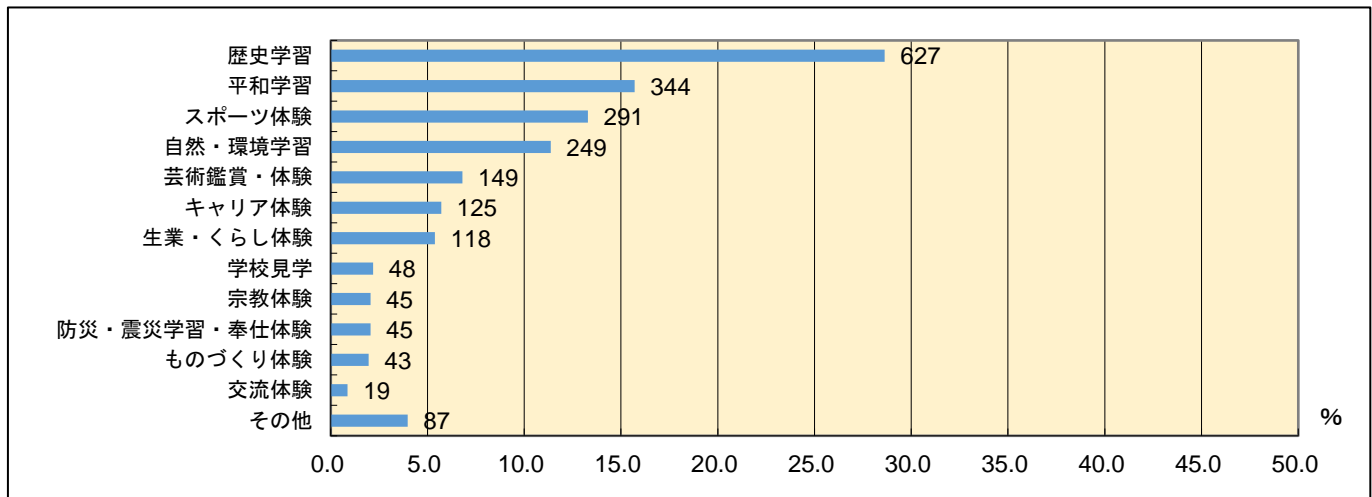
※()順位は昨年の順位。総件数は 1,858 件

カウント方法は、滞在時間に関係なく、例えば滞在が半日であっても、2日であっても、初日と3日目であっても、行った旅行先を「1」としている。

都道府県別旅行先上位 20 を見ると、トップは前回に引き続き沖縄県で、2位大阪府、3位京都府、そして東京都、奈良県の順である。順位の入替わりはあるが、8位までの旅行先は3年間変わりが無い。沖縄県は平和学習やマリンスポーツ体験など、東京都は首都の観光・学習、京都府、奈良県は寺社などの歴史学習、大阪府、千葉県は人気のテーマパーク、北海道は自然体験の豊富な素材等が大きな要因であろうか。

4 旅行内容

重点を置いた活動の分類別件数・比率

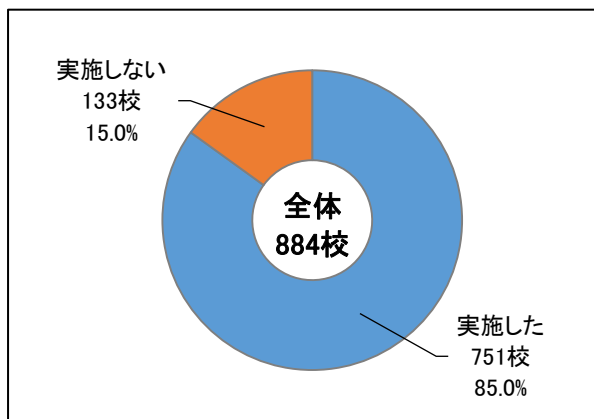


修学旅行で重点を置いた学習や体験を分類した分類別件数比率を見ると、「歴史学習」が 627 件 (28.6%) で最も多く、次いで「平和学習」が 344 件 (15.7%)、「スポーツ体験」が 291 件 (13.3%) で、この3分類内容で全体の 57.6% を占めている。その他様々な体験に重点を置いて実施していることが分かる。

また、重点を置いた学習や体験の具体的な活動内容を調査した結果、1位「遺跡・史跡・文化財・寺社等の見学」2位「平和学習」が3年間変わらず、「スキー・スノーボード」「伝統的町並みや建造物群保存地区の見学」「自然・野外活動体験」「マリンスポーツ」が毎回上位にきている。その他活動内容は多岐にわたっており、各学校が実態に応じて様々な重点を置いた活動を実施していることがうかがわれる。

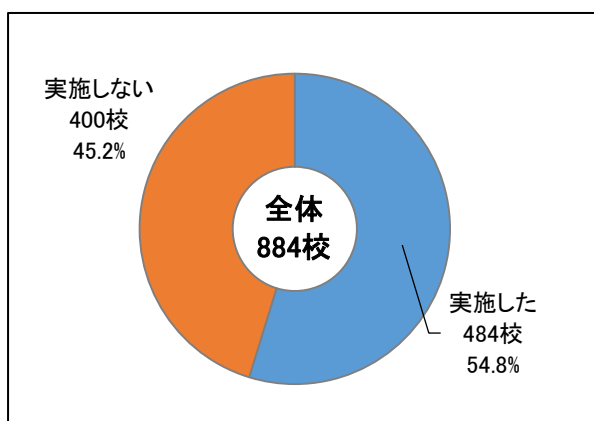
かつて重点をおいた活動であったがここ数年大きく順位が下がっていた「博物館等の見学」は、今回3位と順位を上げた。それ以外では、「職場訪問・職場体験」「いなか暮らし体験」「伝統文化・伝統芸能や祭り体験」などが上位に上がってきている。

5 班別自主行動実施率



班別自主行動の実施率は全体で 85.0%と非常に高く、前回（85.3%）、前々回（86.2%）からみても、班別自主行動が修学旅行における一般的な行動形態として定着してきているといえる。設置者別では国公立校が 86.4%（前回 86.9%、前々回 86.5%）、私立校は 81.8%（前回 82.1%、前々回 85.6%）で、ともに高い実施率である。

6 体験学習実施率



体験学習を実施した学校は全体で 54.8%（前回 63.2%、前々回 66.4%）であり、国公立校、私立校ともに修学旅行における重要な活動となっている。内容は「スポーツ体験」（65.2%）が最も多く、次いで「農山漁村体験」「ウィンタースポーツ体験」「ものづくり体験」である。昨今、受け入れ側が積極的に体験学習プログラムを設定しており、内容も豊富になってきている。